

## どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵と擁壁を  
つくります

### 地元 の声

・急勾配の山があるため、大雨で崩れてくるのではと心配です。(地元住民)



### 事業の概要

- 事業箇所: 桐生市宮本町四丁目
- 事業内容: 防護柵工 L=258m、擁壁工 L=151m
- 事業期間: 令和7年度～

### 事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

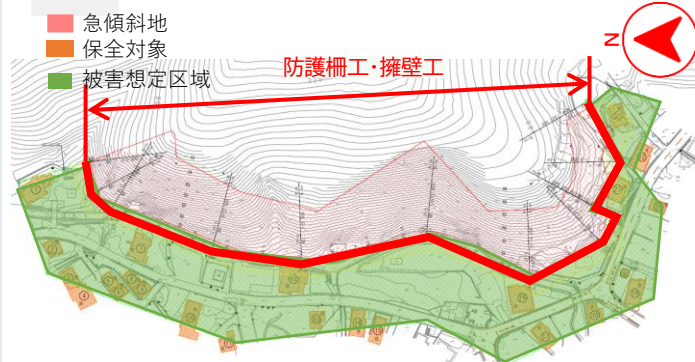
### 事業後

- ◆ 擁壁・防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

## 事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



### 今、何をしているか

令和8年度は、防護柵工と擁壁工の詳細設計を行います。



成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
被害を受けるおそれのある人家	23戸	0戸